



平成 19 年 8 月 10 日

各 位

株式会社マーベラスエンターテイメント
代表取締役社長 中山 晴 喜
(コード番号：7844 東証第二部)
問 合 せ 先
常 務 取 締 役 青 木 利 則
電 話 番 号 03-5793-9170

平成 20 年 3 月期 中間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 18 日付当社「平成 19 年 3 月期 決算短信」にて発表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）中間及び通期の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	5,000	△700	△750	0
今回発表予想 (B)	5,000	△600	△600	300
増減額 (B-A)	0	100	150	300
増減比 (%)	—	—	—	—
(参考) 前中間期実績	4,956	△577	△557	△591

(2) 通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	12,500	220	150	650
今回発表予想 (B)	12,500	220	150	780
増減額 (B-A)	0	0	0	130
増減比 (%)	—	—	—	20.0
(参考) 前通期実績	12,487	△1,052	△1,053	△1,525

2. 連結業績予想修正の理由

(1) 中間期業績予想修正の主な理由

中間期の当社グループの売上高に関しましては平成 19 年 5 月 18 日発表の計画に大幅な変更はございません。

利益におきましては、音楽映像事業においてマスターライセンスの二次利用収入や旧作りピート受注が好調に推移したほか、デジタルコンテンツ事業においても前年度発売のニンテンドーDS 向け「牧場物語キミと育つ島」等のリピート販売が好調だった事などにより中間期の営業損失 600 百万円（当初予想営業損失 700 百万円）、アミューズメント事業の売却を主要因とした財務体質の強化の結果、借入利息額圧縮が見込まれ、経常損失 600 百万円（当初予想経常損失 750 百万円）となる見込であります。また、当初計画においてはアミューズメント事業において事業譲渡が不透明であった 1 店舗について、130 百万円の特別損失を見込んでおりましたが、その譲渡が成功したことに伴い特別損失が発生しなかったことなどにより、当中間純利益 300 百万円（当初予想中間純利益 0 百万円）となる見込であります。

(2) 通期業績予想修正の主な理由

通期の当社グループの売上高に関しましては平成 19 年 5 月 18 日発表の計画に大幅な変更はございません。

利益におきましては、中長期的な収益拡大のために、配信、ネットワークゲームなど技術革新に伴う事業への投資、市況が好調な任天堂系プラットフォームへの積極的な経営資源の先行投資を加速させるため、通期の営業利益および経常利益においては慎重に検討した結果、平成 19 年 5 月 18 日発表した当初計画通りといたします。通期純利益につきましては、中間期の業績予想の数値修正に伴い 780 百万円（当初予想増減比 20%増）となる見込であります。

※ 業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後の様々な要因などにより当該予想と異なる可能性があります。

以上